

**法蓮寺** JR市川大野駅 徒歩15分

1m×1.5m(1.5㎡)  
墓石工事代金

**78万円**  
字彫費用・消費税 全て含んでおります

1m×1.5m(1.5㎡)白御影石を使用

永代使用料… **43万円** 年間管理費 4,000円

合計… **121万円**  
●年2回の墓石清掃サービス付(5年間)

市川市霊園も取り扱っております

**(有)フラワー石材**  
市川市南八幡4-2-5 いちかわ情報プラザ203

☎047-370-9009

ご高齢者に健康と安心をお届けする、  
宅配のお弁当です。

「夏バテ防止三大食べ物」の、天ぷら弁当です!



◆化学調味料を大幅に減らして調理しています。  
管理栄養士がメニューを作成しています。  
日替りメニューの他、井ぶりメニューもございます。

- ◆安否確認OK ◆1食からお届け
- ◆土日配達 ◆昼・夕・夜2回
- ◆刻み食・お粥対応 1食¥577から

宅配クック 1.2.3 (営業時間:8時~17時)

中山店 [TEL] 0120-959-580  
行徳店 [TEL] 047-318-6886

ぜひ無料試食をお申込み下さい。

医師の同意に基づき、  
健康保険が使える、  
出張マッサージです。

[TEL] 0120-978-531  
【営業日】 月~土 9時~18時  
【ホームページ】  
<http://www.konanss.jp/>

らいふマッサージ治療院  
市川店

今、作りたいものが習える!!  
本八幡駅から2分…  
資格を目指した稽古も…

資格希望 ヲォグ社学習システム  
かぎ針編 入門コース  
棒針編 入門コース

「作る喜び」「着る喜び」「贈る喜び」  
今井編物教室  
市川市南八幡 3-3-16-607  
TEL 047-378-5313  
<http://imai-amimono.jp/>

# 防災 危機意識を呼び起こす 市民のための「防災ひろば」 防災訓練

東日本大震災の発生から2年半が経過しようとしていますが、あの時の経験は、今も私たちの心に深く刻まれています。私たちが抱いた災害に対する思いを、これからも大切に持ち続けていくためには、いつ発生するかわからない災害を、日頃から意識し、安全のための取り組みを継続することではないでしょうか。

市では、家族や仲間と一緒に楽しみながら、「防災・減災」について実際に見て・聞いて・体験できる、市民参加型の防災訓練「防災ひろば」を開催します。会場内では、子どもから大人までが参加できるイベントをはじめ、地震や火災時の煙の体験、特殊車両の展示、防災グッズの販売などを行います。

☎704-0065地域防災課

## 開催概要

日 8月31日(土) (雨天中止) 午前10時~午後1時  
※当日の午前6時30分以降に☎333-3636消防局テレホンガイドで開催の有無が確認できます。

場 大洲防災公園(大洲1の18)  
※会場へは徒歩や自転車、公共の交通機関でお越しください。

内 数種類の防災訓練を親子で楽しみながら体験できる「防災運動会」など各種体験コーナー、防災PRブースの開設や、ステージなどでの演奏やダンスの披露を行います。

- 防災運動会 ●初期消火・応急救護訓練 ●炊き出し訓練
- 協定業者・ボランティア団体・関係事業者によるPR
- 地震体験 ●けむり体験 ●特殊車両展示、防災グッズ販売など



## 防災ひろば案内図



▲東日本大震災時の行徳地区

## 外出時に大規模災害が発生した時の心得

# むやみに移動を開始せず、 落ち着いた行動を

### 災害が起こったら…?

危険から自分の身を守ることを最優先に、落ち着いて行動しましょう。

- まずは、自らの安全を確保する
- 職場や集客施設などの安全な建物に留まる
- 災害用伝言サービスを活用し、家族の安否や自宅の無事を確認する
- 交通情報や災害情報などを入手する

大規模災害が発生すると、公共交通機関の運行が停止し、外出先からの帰宅が困難となります。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などで負傷する危険性が増すとともに、救助・救急活動の妨げともなります。

## 普段からできることは…?

特に職場で災害にあうことを想定し、準備しておきましょう。

- 携帯ラジオや地図のほか、歩きやすい靴や懐中電灯、手袋、飲料水や食料などを用意しておく
- 事前に家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておく
- 徒歩による帰宅経路を確認しておく

※コンビニやガソリンスタンドなどでは、水道水やトイレ、交通情報などの提供を受けることができます。

## この機会に備蓄品の確認を

地域防災課 二宮 賢司 主幹

### 東日本大震災発生後の市民や行政の変化

万が一の災害に備え、備蓄をする方や、家具の転倒防止などの対策を取る方の数が増えています。私たち行政は、防災に対する意識の高まりを持ち続けてもらえるように、さらに取り組みなければならないと感じています。

一方で多くの方が情報の大切さを実感されたことと思いますので、情報を様々なかたちで収集し、それをどれだけ多くの方に伝えられるかが大切となっています。災害時の情報発信については、災害協定を結んでいる緑JCN市川や市川エフエム放送機の協力が得られる以外にも、市ではメール情報配信サービスやツイッター、フェイスブックなどを活用しています。今後は、来年度、防災行政無線で流した防災情報を電話で確認できるようにしていきます。

### 防災ひろばの見どころなど

今年は初めて防災運動会を開催します。これは、楽しみながら、身近に様々な防災体験ができるもので、小さな子どもから大人まで参加できます。また、防災グッズの販売も行われます。備蓄品の中には期限のあるものもありますので、この機会に確認をして、必要なものを買えそえたり、新たに購入したりしていただきたいです。

## 新たに「特別警報」が加わります

気象庁では、これまでの警報より重大な災害が予測される場合、「特別警報」の運用を8月30日(金)から開始します。対象となるのは、観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風第12号」の豪雨などが該当します。

特別警報が出た場合、その地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、市からの避難指示・勧告などに留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

詳しくは、気象庁のホームページをご覧ください。

☎334-1507危機管理課